

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 5月 13日

事業所名 オールケア大日 (児童発達支援)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	その日、その日場所を変えるなどの工夫	定員とスペースの関係においては問題ないと思っている
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	他部署との連携	体制作りや活動の工夫を行っていく
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	視覚支援等を取り入れている。	来所される児童が変わる為、利用児様の動きを把握し安全面を配慮しながら空間を作っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	その日の利用児に合わせた生活空間を作っている	清潔に過ごせるための整理整頓、環境の整備にも力を入れていく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	88%	13%	その日の振り返りは終礼で個々の目標設定と振り返りは月末に行っている	今後もスタッフ全員で共通理解を深めていく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	はな組の改善や支援計画の改善につなげている	今後も活用し改善につなげていく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	75%	25%	送迎時や面談時にお話して共通の認識を持つようにしている	HPで公開している
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	88%	13%	内部監査を受け改善につなげている	内部監査の評価結果を改善につなげていく
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	法人内の人材センターや事業所内で各種研修を行っている	外部研修にも多く参加していく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	担当者会議で現状や課題を確認している	保護者様とも共有し、計画の改善につなげていく
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	事業所に合わせたアセスメント用紙を作成している	必要時見直しを行い、より使いやすいものに改善していく
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	計画書には生活面、社会面、活動面の項目を入れ、総合的な支援内容を設定している	本人様、保護者様のニーズの把握に努め計画に反映していけるよう努力する
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	3ヶ月後に中間評価を行い見直している	個々のニーズを踏まえて内容の充実を図っていく
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	保育士が立案し全員で検討している	個々に合ったプログラムの立案も行っていく
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	75%	25%	毎日記録に残し月末評価している	今後も発達や特性に合わせ工夫、改善を図っていく
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	季節や状況に合わせた支援を行っている	個々の発達に合わせた活動を充実させていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼で確認している	今後も続けていく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼で振り返り共通理解している	今後も全員が周知できるよう変更点などノートに書き共有していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の支援を記録している	毎月評価している日々の記録を改善につなげていく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	3ヶ月に1度モニタリングを行っている	引き続き行い改善につなげる
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理責任者が参加している	今後も情報共有を行っていく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	必要時行っている	今後も必要に応じ連携を密にしている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	関係機関と連携している	更なる支援充実のため今後も積極的に連携していく
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%	毎月協力医療機関の医師の巡回があり連携体制を整えている	今後も保護者を通じ主治医との連携をとっていく
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	88%	13%	必要時行っている	ケースに応じ情報共有と相互理解を図り支援につなげていく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	必要時行っている	ケースに応じ情報共有と相互理解を図り支援につなげていく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	88%	13%	交流会などに参加している	外部研修で得たことをスタッフ間に広げていく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	13%	88%	公園等で接する機会がある	地域交流の機会を設けていきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	25%	75%	交流会などに参加している	今後も参加していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡ノートを通じて状況の共通理解を行っている	今後もいろいろな機会を活用し共通理解を深めていく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	ケースに合わせて関わり方や声のかけ方等伝えている	必要に応じて家族支援が行えるようスタッフ間の共通認識、研修を行っていく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	丁寧に説明するよう心がけている	今後も丁寧に対応していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	ニーズを計画に反映させるよう努めている	今後も丁寧な説明と情報交換を行っていく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	送迎時や面談時にお聞きしている	お聞きした問題に対し速やかにアドバイスや助言を行っていくよう努力する
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	75%	25%	保護者会を年2回開催している	保護者会の内容の充実を図っていく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	その日のうちに対応するよう心がけている	今後も努力していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月機関紙を発行している	今後も活動や行事の様子をわかりやすく伝えていく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人のファイルは鍵付きのロッカーに保管	今後も意識し対応していく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	より丁寧な対応を心掛けている	子どもとの意思の疎通や伝達をより充実できるよう努力していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	63%	38%	チラシ等でお知らせしている	より開かれた事業所運営を図っていく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	各種マニュアルを作成している	保護者様への周知を徹底させていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	全体で年2回、児童は毎月行っている	今後も続けていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	契約時に確認している	変更時など確認し、情報の共有を行っていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者様を通じて行っている	今後も記録に残し確認していく
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	報告書を作成、共有している	今後もスタッフ間で共有していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	マニュアルを作成し研修に参加している	常に共通理解を行い全員参加の研修を続けていく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	個別支援計画に記載している	引き続き連絡ノートへの記入も行き、丁寧な説明も続けていく

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

**保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)**

事業所名 オールケア大日(児童発達支援) 保護者等数(児童数) 4 回収数 4 割合 100 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%	0%	0%	0%		より有効に活用するために、活動内容や場所の工夫をしていきます
	2	職員の配置数や専門性は適切である	75%	0%	0%	25%		各専門分野の研修にも参加し、スキルを高めていきます
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	0%	0%		視覚支援等取り入れ、利用児童の特徴に応じて環境を作っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	100%	0%	0%	0%		保護者様とよく話し、ニーズの把握に努め計画に反映させていきます
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	0%	0%		保護者様とよく話し、ニーズの把握に努め計画に反映させていきます
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	0%	0%		保護者様とよく話し、ニーズの把握に努め計画に反映させていきます
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	100%	0%	0%	0%		日々の支援を記録に残し、評価を行ったうえで計画を立てています
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	25%	0%	25%	50%		公園などで接する機会がありますが、もっと地域交流の機会を設けていきたいと思っています
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%	0%	0%	0%		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	100%	0%	0%	0%		今後も丁寧な説明を心がけていきます
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	67%	0%	33%	0%		必要に応じて家族支援が行えるようスタッフ間の共通認識、研修を行っていきます
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	親が気づかない変化を教えてもらい受診の時に主治医に伝えることができ助かっています。	今後も保護者様とよく話し合い、丁寧な説明を心がけていきます
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	100%	0%	0%	0%		保護者様とも連絡を密に行い、把握した問題には必要な助言を行っていきます
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	50%	0%	25%	25%		保護者交流の場として内容に充実に努めていきます。密にならずに開催できる工夫が必要。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	100%	0%	0%	0%		その日のうちに対応できるよう心掛けています
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	100%	0%	0%	0%		子どもや保護者様との意思の疎通や伝達をより充実できるよう努力していきます	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	100%	0%	0%	0%		行事毎のホームページの更新や機関紙の内容の充実を図っていきます
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	100%	0%	0%	0%		今後も意識し対応していきます
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	100%	0%	0%	0%		丁寧な説明を行い、周知を徹底していきます
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	100%	0%	0%	0%		全体で年2回、児童は毎月行っていき、密にならないように配慮する。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	100%	0%	0%	0%	行き帰り笑顔でいる事が多く、とても楽しんでいるんだと感じています。	今後も楽しく過ごせるよう工夫していきます
	23	事業所の支援に満足している	100%	0%	0%	0%	急なお願いにも対応していただきとても助かっています。	一人一人にあった支援を引き続き行っていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 5 月 13 日

事業所名 オールケア大日(重心)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	その日その日利用児に合わせた環境作りをしている	部屋の中でのルール決めをし安全にすごせるように行っていく。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	基準はみたましている。来所されるメンバーその日その日と違う為、必要時は応援を要請している。	より良い充実した支援の為、人材確保していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	車椅子の数により狭くなってる時があるが考えて置くようにしている。	車椅子等の配置場所に検討が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎月、目標を貼りだしている。	目標を貼りだして、実践・振り返りを重ねていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	頂いた意見は検討し全スタッフと話し合っている。	頂いた意見を検討後、家族様にお伝えし改善していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	毎年、ホームページに公開しています。	今後もホームページに公開していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	法人の内部監査で業務改善に努めている。	法人の内部監査での業務改善を務めていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	法人内部に人材センターや内部外部、各種の職員研修を実施している。	法人内部の人材センターや事業所の内部・外部各種の職員研修を実施し学んでいく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	スタッフ間で話し合い、情報を共有している。	十分な時間をとりながら個別支援計画を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	利用児に応じて適したアセスメントを使用している。	担当者が個別支援計画をたてスタッフに伝達するようにしていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	保育士が複数で立案している。	立案後には、全スタッフで検討し実行する。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	新しい活動と利用児の好きな活動両方取り入れるようにしている。	担当者会議等で活動面での話も取り入れ、活動の充実に努める。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	1人1人の応じた計画を立てて行っている。	同じ内容にならない様に行い、長期休暇にできる支援を今後も検討していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	日によって個別と集団の活動を取り入れている。	個別・集団活動をさらに手厚く考えていけるように話し合っていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	始業時に事前準備をし、始業時のミーティングにて、スタッフの役割・支援内容を確認している。	ミーティングにてスタッフ間で話あいを行っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼時、その日の振り返りを行い、その日気づいた点を話し合い、議事録に記入している。	ミーティングにてスタッフ間で振り返り、改善を行い、全員に周知・共有していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	行った支援の記録をしている。	担当者会議で密に話し合い、ヒヤリハットを活用しながら、日々の変化に留意し事故防止に努める。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的(3か月)に実施している。	今後も定期的にモニタリングを行う。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	一人ひとりの状態に即した計画を立てて支援している。	発達過程や特性、適応行動を理解し、支援に繋げる為、今後も研修を行っていく。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	88%	13%	児童発達支援管理責任者が参加をしている。	児童発達支援管理責任者や直接関わっているスタッフ等相談支援事業所の協議や担当者会議に参画していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校主催の話し合いに参加、ホームページでの情報交換を行っています。	学校によって情報共有できない事があるので、発信していく必要がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	家族様を通して指示書を頂いています。	指示書を更新変更等確認していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	必要に応じて情報を共有している。	必要の時には、就学前利用施設に連絡し情報を共有し確認していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	希望があれば家族様に了解を得てから応じています。	個人情報保護に留意しつつ、継続した支援を行う為に必要な情報を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	発達支援の先生の巡回時、助言等を頂いている。	助言を頂いたことを全スタッフに周知し、取り入れ行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	地域のお祭りなどの機会を活用し交流させて頂いています。	積極的に交流していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	14%	86%	現在、参加していないが状況の把握をしている。	参加ができるような環境づくりを進めていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時の申し送りを、面談等で理解して頂いている。	今後も連絡帳や送迎時の申し送り、面談等でしっかりと伝えていく。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	モニタリング時、必要に応じた支援をしています。	今後も積極的に行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約・重要事項説明時やその他に面談時に行っている。	変更があればすぐに説明をしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	面談時や送迎の際に対応している。	送迎時ですぐに返事が出来ない場合は、持ち帰り、電話にて対応等を行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	83%	17%	保護者会を年に2回行っている。	たくさんの家族様が参加できるように工夫が必要。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	すぐに責任者が対応し、適切に対応をしている。	児童発達支援管理責任者中心に保護者様との関係性の構築に努力すると共に苦情があった場合には、速やかに対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	行事案内やお知らせを配布しています。当社のホームページなどで事業所の様子を発信している。	継続し、こまめにホームページに載せていく。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報の管理については、定期的に職員に対して注意喚起をしている。	取扱いに十分注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡帳や保護者と連絡をとるようにしている。	緊密に連絡をとっていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	44%	56%	お祭り行事等の前にチラシを配布したり、近隣の家には挨拶に行き参加して頂いている。	日々の近隣との関係を有効に行い、行事前には、チラシや近隣への説明と挨拶回りを継続していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	緊急マニュアル・感染対策マニュアル等を整備している。	保護者の方にも周知徹底を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	施設全体では、年2回児童のみ、毎月訓練内容をかえ、実施している。	今後も施設全体では2回、児童のみ、毎月の訓練内容をかえ、記録に残し行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	毎年、研修へ参加している。	2カ月に1回虐待防止委員会の設置し、事業所全体で取り組んでいく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	安全ベルト使用に関して個別支援計画に記載し、連絡帳にも記載している。	面談時に家族様にしっかりと説明を行い、個別支援計画、連絡帳に記載を行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時や面談時、保護者から聞き取りで食物アレルギー等の有無を確認している。	食物アレルギーの把握をし対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	事業所内でヒヤリハットを作成し共有しているほか、法人内他事業所でのヒヤリハット事例も共有している。	その日に起きた事は原因・対策を話し合い議事録に残し、次につなげていく。安全管理委員会で全体周知し再発防止に努める。



保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年5月13日

事業所名 オールケア大日(重心)

保護者等数(児童数) 19

回収数 18

割合 94.7

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	94%	6%	0%	0%		より有効に活用する為に活動内容や場所の使い方を工夫して使用していく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	83%	6%	0%	11%	判断材料がなく判断できない	各専門分野の研修にも参加し職員のスキルを高めていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	94%	6%	0%	0%		現在問題となる環境はないが、利用児に合わせた工夫は常に行っていく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	94%	0%	0%	6%	客観的かどうか判断できない	保護者様との連絡を密にとり、ニーズの把握に努め計画に反映させていく。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%		日々の支援を記録し、評価を行った上で計画を立てている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	28%	22%	28%	22%		個々に合わせた活動プランの中で社会参加できる機会を増やしていけるよう努力する。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94%	6%	0%	0%		今後も丁寧な対応を行っていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		送迎時や面談時に多くの会話をもち共通理解に努めている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94%	0%	0%	6%	何を指すのかわからない	今後も丁寧な対応を心がけていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	35%	35%	18%	12%		保護者交流のあり方や内容を工夫していきたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	72%	11%	6%	11%	対応状況不明	今後も迅速に丁寧な対応を行っていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	89%	11%	0%	0%		連絡ノートを活用と共に面談時、送迎時に連携を密にとり情報を共有していく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	94%	6%	0%	0%		行事毎、ホームページを更新していることを保護者様に伝えていく
14 個人情報に十分注意しているか	94%	0%	0%	6%		今後も取り扱いには、十分注意していく。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	94%	0%	0%	6%	マニュアルが不明	面談時、保護者会に丁寧に説明を行っていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%	0%	0%	0%		連絡ノートに記入していますが、よりわかりやすいよう工夫していく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	89%	6%	0%	6%		療育プランに合わせ遊びを工夫してけるようスキルアップします。
	18 事業所の支援に満足しているか	83%	17%	0%	0%	長期休みの時等お弁当の提供があると利用者は助かる。	今後も検討していく。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年5月13日

事業所名 オールケア大日(重心外)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	その日その日利用児に合わせた環境作りをしている	部屋の中でのルール決めをし安全にすごせるように行っていく。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	基準はみたましている。来所されるメンバーその日その日と違う為、必要時は応援を要請している。	より良い充実した支援の為、人材確保していきたい。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	車椅子の数により狭くなってる時があるが考えて置くようにしている。	車椅子等の配置場所に検討が必要。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎月、目標を貼りだしている。	目標を貼りだして、実践・振り返りを重ねていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	頂いた意見は検討し全スタッフと話し合っている。	頂いた意見を検討後、家族様にお伝えし改善していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	毎年、ホームページに公開しています。	今後もホームページに公開していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	法人の内部監査で業務改善に努めている。	法人の内部監査での業務改善を務めていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	法人内部に人材センターや内部外部、各種の職員研修を実施している。	法人内部の人材センターや事業所の内部・外部各種の職員研修を実施し学んでいく。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	スタッフ間で話し合い、情報を共有している。	十分な時間をとりながら個別支援計画を作成していく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	利用児に応じて適したアセスメントを使用している。	担当者が個別支援計画をたてスタッフに伝達するようにしていく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	保育士が複数で立案している。	立案後には、全スタッフで検討し実行する。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	新しい活動と利用児の好きな活動両方取り入れるようにしている。	担当者会議等で活動面での話も取り入れ、活動の充実に努める。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	1人1人の応じた計画を立てて行っている。	同じ内容にならない様に行い、長期休暇にできる支援を今後も検討していく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	日によって個別と集団の活動を取り入れている。	個別・集団活動をさらに手厚く考えていけるように話し合っていく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	始業時に事前準備をし、始業時のミーティングにて、スタッフの役割・支援内容を確認している。	ミーティングにてスタッフ間で話あいを行っていく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼時、その日の振り返りを行い、その日気づいた点を話し合い、議事録に記入している。	ミーティングにてスタッフ間で振り返り、改善を行い、全員に周知・共有していく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	行った支援の記録をしている。	担当者会議で密に話し合い、ヒヤリハットを活用しながら、日々の変化に留意し事故防止に努める。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的(3か月)に実施している。	今後も定期的にモニタリングを行う。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	一人ひとりの状態に即した計画を立てて支援している。	発達過程や特性、適応行動を理解し、支援に繋げる為、今後も研修を行っていく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	20%	80%	児童発達支援管理責任者が参加をしている。	児童発達支援管理責任者や直接関わっているスタッフ等相談支援事業所の協議や担当者会議に参画していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校主催の話し合いに参加、ホームページでの情報交換を行っています。	学校によって情報共有できない事があるので、発信していく必要がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	家族様を通して指示書を頂いています。	指示書を更新変更等確認していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	必要に応じて情報を共有している。	必要の時には、就学前利用施設に連絡し情報を共有し確認していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	希望があれば家族様に了解を得てから応じています。	個人情報保護に留意しつつ、継続した支援を行う為に必要な情報を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	発達支援の先生の巡回時、助言等を頂いている。	助言を頂いたことを全スタッフに周知し、取り入れ行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50%	50%	地域のお祭りなどの機会を活用し交流させて頂いています。	積極的に交流していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	現在、参加していないが状況の把握をしている。	参加ができるような環境づくりを進めていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や送迎時の申し送りを、面談等で理解して頂いている。	今後も連絡帳や送迎時の申し送り、面談等でしっかりと伝えていく。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	モニタリング時、必要に応じた支援をしています。	今後も積極的に行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約・重要事項説明時やその他に面談時に行っている。	変更があればすぐに説明をしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	面談時や送迎の際に対応している。	送迎時ですぐに返事が出来ない場合は、持ち帰り、電話にて対応等を行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	保護者会を年に2回行っている。	たくさんの家族様が参加できるように工夫が必要。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	すぐに責任者が対応し、適切に対応をしている。	児童発達支援管理責任者中心に保護者様との関係性の構築に努力すると共に苦情があった場合には、速やかに対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	20%	80%	行事案内やお知らせを配布しています。当社のホームページなどで事業所の様子を発信している。	継続し、こまめにホームページに載せていく。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報の管理については、定期的に職員に対して注意喚起をしている。	取扱いに十分注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	連絡帳や保護者と連絡をとるようにしている。	緊密に連絡をとっていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	お祭り行事等の前にチラシを配布したり、近隣の家には挨拶に行き参加して頂いている。	日々の近隣との関係を有効に行い、行事前には、チラシや近隣への説明と挨拶回りを継続していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	緊急マニュアル・感染対策マニュアル等を整備している。	保護者の方にも周知徹底を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	施設全体では、年2回児童のみ、毎月訓練内容をかえ、実施している。	今後も施設全体では2回、児童のみ、毎月の訓練内容をかえ、記録に残し行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	毎年、研修へ参加している。	虐待を防止する為、、全員参加の研修を継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	安全ベルト使用に関して個別支援計画に記載し、連絡帳にも記載している。	面談時に家族様にしっかりと説明を行い、個別支援計画、連絡帳に記載を行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	契約時や面談時、保護者から聞き取りで食物アレルギー等の有無を確認している。	食物アレルギーの把握をし対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	事業所内でヒヤリハットを作成し共有しているほか、法人内他事業所でのヒヤリハット事例も共有している。	ファイリングし共有していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 5月 13日

事業所名 オールケア大日(重心外)

保護者等数(児童数) 38 回収数 36

割合 94.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	94%	6%	0%	0%		より有効に活用する為に活動内容や場所の使い方を工夫して使用していく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	83%	11%	0%	6%		各専門分野の研修にも参加し職員のスキルを高めていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	97%	0%	0%	3%		現在問題となる環境はないが、利用児に合わせた工夫は常に行っていく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	92%	3%	0%	6%		保護者様との連絡を密にとり、ニーズの把握に努め計画に反映させていく。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	83%	11%	0%	6%	高等部ですので社会に出るための準備、活動を工夫してほしい。	固定化にならないように評価や会議を行い、個別支援計画に反映していく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6%	58%	28%	8%	学校で交流会あるのでなくていいかな。今は難しい。	コロナの状況もあるが、できる限りの交流を検討していく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	92%	3%	3%	3%		今後も丁寧な対応を行っていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	89%	3%	3%	6%		送迎時や面談時に多くの会話をもち共通理解に努めている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	89%	6%	6%	0%		今後も丁寧な対応を心がけていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	28%	44%	14%	14%	参加したことない。最近では希望しない保護者の方が多いと感じるしコロナでできない。	コロナの状況もあるが、なるべく参加して頂けるように少人数での保護者会を開いていく等様々な取り組みを行っていく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	81%	11%	0%	8%		迅速に対応している。今後も更に丁寧な対応を行っていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	86%	0%	6%	8%		今後も児発管中心に保護者様との連携を密にとり情報を共有していく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	89%	3%	0%	8%	重心は活動の様子がわかるものがあるが重心外は？	ホームページを載せた際には、見て頂けるように送迎時に保護者様に伝えていく。
14 個人情報に十分注意しているか	97%	0%	0%	3%		今後も取り扱いには、十分注意していく。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	94%	3%	0%	3%		全保護者様が周知できるように伝えていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	94%	3%	0%	3%		連絡ノートに記入していますが、よりわかりやすいよう工夫していく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	78%	17%	0%	6%		療育プランに合わせ遊びを工夫していくようスキルアップします。
	18 事業所の支援に満足しているか	83%	11%	0%	6%	長期休み時等お弁当の提供があると利用者は助かる	家族様との対話を増やしデイの様子をお送りした際に詳しく伝えて行くように務める。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。